

# 報告5 園長からみた担任の保育・教育に対する姿勢の変化

## 日常生活において担任と子どもの関わりに変化があったか？

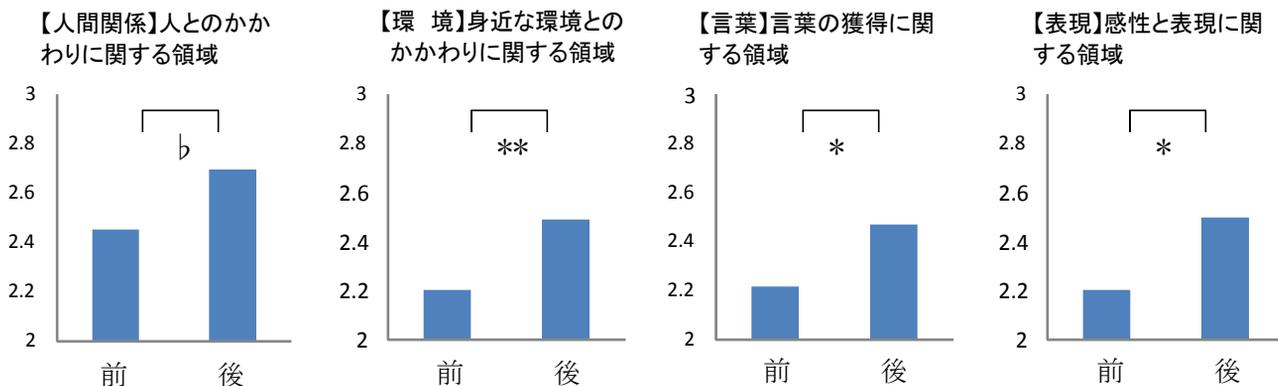
### 概要

大田区の取り組みで、幼児期運動指導（運動遊び指導）リーダー保育者養成研修を行っている。それによって、先生がたの保育に何か変化はあっただろうか。そこで、園長先生から担任の先生を評価してもらった。その結果、卒園までに子どもに身につけさせたい力（5領域：詳細は右）の殆どの項目で成長がみられたという結果が得られた。先に報告した内容から、子どもの運動能力に効果的であることは示されたが、先生の保育に向かう姿勢も大きく変わるというのは大変興味深い。

### アンケートの詳細

アンケートは、園長に担任の保育・教育の姿勢を評価してもらった。回答は前（6～7月）と後（1月）に行った。評価項目は、  
・心身の健康に関する領域「健康」  
・人とかかわりに関する領域「人間関係」  
・身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」  
・言葉の獲得に関する領域「言葉」  
・感性と表現に関する領域「表現」とした。  
調査対象は57園とした。

### 結果



有意差のあった項目の測定値は以下の通りである。人間関係（前 vs. 後 :  $2.5 \pm 0.1$  vs.  $2.7 \pm 0.1$ ）、環境 ( $2.2 \pm 0.1$  vs.  $2.5 \pm 0.1$ )、言葉 ( $2.2 \pm 0.1$  vs.  $2.5 \pm 0.1$ )、表現 ( $2.2 \pm 0.1$  vs.  $2.5 \pm 0.1$ )。

(b :  $p < 0.1$ , \* :  $p < 0.05$ , \*\* :  $p < 0.01$ )

### ポイント

今回の結果では、5領域のほとんどのカテゴリで著しい向上がみられた。園長からの評価が、約6ヶ月間でこれほど変化することには驚いた。幼児期運動指導（運動遊び指導）リーダー保育者養成研修によるものだけではないだろうが、この研修会で何らかの気づきがあった可能性も示唆される。どちらにせよ、これまでの報告を踏まえて今回の研修事業は、子どもの心と身体、さらには先生の保育・教育活動の充実にもつながったと言っても過言ではない。